



国際ロータリー第2630地区
2022-23年度

ガバナー 高橋 伸治

「ロータリーの心と原点」を大切に、描こう明るい未来を」

(ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を創る)

最近のロータリーの現状を鑑み、ガバナー方針を「ロータリーの心と原点を大切に、描こう明るい未来を」としました。ロータリーの心とは、「寛容の心を基盤とした友愛と信頼」、2つのモットーである「超我の奉仕」・「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」であり、原点とは「人づくり・真のロータリアンを育てる事」と考えます。

RI会長方針に成長(Grow Rotary)という言葉がよく出てきます。次年度RI会長のジェニファー・ジョーンズさんのスピーチにも「いつも一緒に笑い・夢を描き・希望を抱き・そして成長しよう」と言っています。

それは、ロータリーの成長が「RIの戦略計画の重要な要素」であるからです。

国際ロータリーは、ポリオ根絶が今後も国際ロータリーの最優先事項である一方ロータリー内部においては会員増強が最重要事項であると言っています。

まさにこれが今の国際ロータリーが目指している奉仕の実践に重点を置いた考えです。

確かにこうした人道的支援活動はロータリーの重要な奉仕活動であり、その為には会員増強も重要なテーマであります。ポリオ根絶運動もロータリーが世界に誇れる人道的支援運動であり素晴らしい事業であることに間違いはありません。助けが必要な人がいれば手を差し伸べることはロータリアンにとって当然の事であり、こうした人道的奉仕の成果があってこそロータリーの認知度が上がり、新しいロータリアンが増え、奉仕の輪が広がっていくのです。

しかし、ロータリーにはもう一つロータリーの原点である「倫理運動体」として、教育的要素を持った側面があります。

寛容を基盤とした親睦のエネルギーから奉仕の理念が生まれ職業奉仕へと発展しました。「親睦と職業奉仕」を根幹として、「例会は人生の道場」、「入りて学び・出でて奉仕せよ」の精神のもと、常に「超我の奉仕」を胸に奉仕の実践に努め、自己を磨き、高い職業倫理基準と道徳心を持った「真のロータリアン」を育てるといふこと、つまり「ロータリーは心を育て、人を育てる」という理念としての側面があります。